

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500352
事業所名	サポートハウス おおばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 回覧板の情報から、地域イベント(敬老会、祭り、清掃等)に積極的に参加して地域との交流を図っている。 利用者だけで周辺のスーパーやコンビニエンスストア、地元の商店等買い物に行くこともあり、利用者が地域とつながりながら生活している。 地域の中学生の福祉体験学習の受け入れも恒例となってきた。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者数名、家族代表、地域包括支援センター職員、民生委員・児童委員が参加し、毎月数月に運営推進会議を開いている。 ホームイベントの振り返りや防災(避難訓練等)、熱中症・感染症対策、地域の認知症カフェ等の話題で盛り上がり、会議では利用者も積極的に意見を発している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 利用者の半数近く(4名)が生活保護受給者であり、適切な支援のためには区の保護係との連携は欠かせない。 定期的に保護係の担当者の訪問があり、利用者への支援の確認と状況把握をするとともに、ホームと情報交換を行っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 足の遠のいている家族もいるが、週に2～3度ホームを訪問する家族もあり、その際に家族から意見や要望を聞き取っている。 ホーム便り「サポートハウス通信」が毎月発行されており、家族に利用者の日々の様子を伝えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎		